



Kyushu University, Center for Molecular Systems (CMS) The 53rd CMS Seminar

分子骨格を動かして材料技術をうみだす ～光で剥がせる接着材料、蛍光張力プローブ～

齊藤 尚平 博士

(京都大学大学院理学研究科)

平成29年6月24日(土) 10:00-11:30

伊都キャンパス ウェスト4号館 315号室

(物質系5番講義室)

齊藤尚平博士は柔軟な π 共役系分子の外部刺激応答型分子運動に起因する物性変化を巧みに利用することで、分子物性に立脚した材料技術の創出に挑戦されている新進気鋭の若手研究者です。これまでに光で剥がせる接着技術を確立され、現在はそれを発展させて、蛍光張力プローブ技術について、精力的に研究を展開されております。

今回、来学の機会を得ましたので、最新の研究成果についてご講演戴くことになりました。多数の皆様方のご来聴、お待ち申し上げます。



共催: 新学術領域研究「 π 造形科学」 第59回 π 造形コロキウム

連絡先 古田弘幸 e-mail: hfuruta@cstf.kyushu-u.ac.jp 内線 (2865)
九州大学大学院工学研究院 応用化学部門 分子システム科学センター (CMS)

Free Admission